

みよし 議会だより



目次

26年12月議会報告	P2～P3
常任委員会Q&A	P4～P5
11人が市政を問う(12月議会一般質問)	P6～P11
(仮称)図書館学習交流プラザの開館	P11
特集 地区防犯パトロール隊紹介(明知下行政区)	P12

平成26年第4回定例会(12月議会)報告

12月議会は12月5日(金)～24日(水)の20日間の会期で開催。条例の制定・一部改正、26年度一般会計・特別会計補正予算など20件、諮問1件、報告1件が審議されました。主なものについてお知らせします。(補正予算額は、千円以下切り捨て)

条例の制定

○みよし市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例

○みよし市地域包括支援センターの職員に関する基準等を定める条例

条例の一部改正

○みよし市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

○みよし市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例等の一部を改正する条例

条例の一部を改正する条例

●この条例は、健康保険法施行令の一部改正に伴い支給される出産一時金を39万円から40万4千円に引き上げるものです。

○みよし市ふるさと会館設置条例の一部を改正する条例

○みよし市勤労文化会館設置条例の一部を改正する条例

●この2つの条例は、一般職の国家公務員等の給与改定に準じ、一般職職員、議員、市長、副市長、教育長、病院事業管理者の給与の支給割合の引き上げを行うものです。

○みよし市国民健康保険

て定めることとするものです。

○みよし市少人数学級編制の実施に係る任期付市費負担教員の任用、給与等に関する条例の一部を改正する条例

●この条例は、愛知県教育職の給与改定に準じて、任期付市費負担教員の給与を引き上げるものです。

一般会計補正予算

○補正額は2億5773万円

歳入

●国庫支出金

4364万円
(地域介護等整備交付金等です。)

●県支出金

5568万円
(後期高齢者福祉医療費給付金補助金等です。)

●繰越金

1億5776万円

歳出

●地域密着型サービス拠点等施設整備補助事業費

108万円

●障がい者医療費支給事業費

2638万円
(障がい者の介護訓練、補装具等の給付、通所給付等について利用者増による補正です。)

●障がい者自立支援事業費

6180万円
(小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護併設施設に対する補助への補正です。)



◎地域密着型サービス拠点等施設整備予定地



（高額療養費制度の見直しによる福祉総合システムを改修するための補正です。）

●後期高齢者福祉医療費給付金支給事業費
597万円

（後期高齢者福祉医療費給付金の見込み増による補正です。）

●介護保険特別会計保険事業勘定繰出金
1468万円

（介護保険特別会計の保険事業勘定に給付費、地域支援事業費、職員給与費等を繰出するための補正です。）

●生活保護総務事業費
1906万円

（医療扶助費の適正化及び26年度生活保護費の国庫・県費負担金の確定に伴う補正です。）

●低公害車普及促進補助事業費
800万円

（当初予算の300台分が予算消化したため、100台分を追加するための補正です。）

●都市公園整備事業費
4635万円

（保田ヶ池公園用地2438㎡を土地開発公社から買い戻すための補正です。）

●道路安全施設維持管理事業費
2000万円

（緊急輸送路等の区画線を30000m整備するための補正です。）

●公園維持管理事業費
200万円

（公園及び緑道の緊急修繕を31箇所行つための補正です。）

●災害対策用品購入事業費
328万円

（災害用備蓄トイレ32基を小中学校に配備するための補正です。）



◎保田ヶ池公園（丸印が買い戻し箇所）

●地区公民館修繕等事業費
224万円

（助生公民館への非常警報装置設置、明知下公民館駐車場舗装のための補正です。）

特別会計補正予算

○国民健康保険特別会計
補正額4483万円

●後期高齢者支援金事業費
1392万円

（後期高齢者支援金の負担額確定に伴う補正です。）

●返還金
2977万円

（25年度の実績額確定に伴い医療給付費等の国庫負担金を返還するための補正です。）

○下水道事業特別会計
補正額（減）29万円

○農業集落排水事業特別会計
補正額107万円

○介護保険特別会計
補正額4227万円

●介護保険運営事務費
879万円

（制度改正に伴うシステム改修のための補正です。）

●介護予防サービス給付事業費
2406万円

●介護予防サービス計画給付事業費
133万円

●高齢者配食サービス事業費
129万円

○後期高齢者医療特別会計
補正額93万円

○病院事業会計

●器械備品整備事業費
300万円

（寄附金300万円をピアノ等の購入に充てる補正です。）

報告

○工事変更請負契約の締結

（仮称）みよし市図書館学習交流プラザ建設工事の請負契約金が1億8456万円増額され、25億4760万円に変更されました。敷地内で発見された汚染土壌の撤去費用7190万円と閉架書庫追加設置工事費9400万円が主な変更理由です。）

常任委員会報告Q&A

各委員会の付託案件の
主な審査内容をお知らせ
します。

総務協働委員会

市職員の給与に関する条
例の一部を改正する条例

Q 国家公務員に従じる
改定率0.3%であるが、
独自の考えを持って改定
を考えるべきでは。

A 物価が上がり、民間
賃金も上昇しています。
一定の給料の上昇がない
と新規採用職員の確保面
で困難になります。この
地域の賃金を考慮すると
更に高くなるため、国に
準じた形で考えています。
Q みよし市の地域手当
は低いと聞いているが、
上げていく計画は。

A 現在6.5%で県に合
わせています。この地域
については今後、上げて
いく形になると思います。

議会議員の議員報酬、費
用弁償及び期末手当に関
する条例等の一部を改正
する条例

Q この議案名は市民か
ら誤解・苦情を受ける。
特別職の報酬とすべきで
は。

A 議会議員の他、市長、
副市長、教育長、病院管
理者も含まれています。
議案名は条例のつくり方
のルールに基づいた表示
で、法規上のルールでの
表示です。

一般会計補正予算

Q マイナンバー法の整



◎組み立て式トイレ

備業務委託は2年と聞く
が単年度で出来ないか。
A 来年1月から10月に
かけ、市民向けにナンバー
付番される中で整備を行
います。

Q マイナンバーは個人
が不要としたら拒否でき
るか。また、利用される
内容は。

A これは国の政策です。
全市民に付番します。利
用方法は社会保障・税・
災害対策の3つを想定し
ています。

Q 災害用備蓄トイレ購
入32基の構造と配備場所
は。

A 組み立て式トイレで、

マンホールに設置でき、
テントで覆う構造です。
小中学校に設置する計画
です。

専決処分の承認

Q 衆議院議員総選挙の
ポスター掲示場設置費の
積算基準は。

A 立候補者数を想定し
掲示する区画数、大きさ
により積算しています。
28年度から投票所の数が
8箇所になると、掲示板
の設置数が144箇所か
ら65箇所になります。

Q 8箇所になるとお年
寄りが通えない心配があ

る。期日前投票所を一箇
所増やしては。

A みよし市のエリアで
は一箇所です。十分と選挙管
理委員会では考えており
ます。

Q 投票入場券の裏に期
日前投票の宣誓書の印字
を考えては。

A 宣誓書の裏面への印
刷は選挙管理委員会検
討したいと思っています。

文教厚生委員会

勤労文化会館設置条例の
一部を改正する条例

Q 利用料金の最大1.5
倍の値上げ幅は大きいの
では。

A 受益者負担の見直し
算定に従い、全体の管理
料を面積按分して算定し
ております。

少人数学級編成の実施に
係る任期付市費負担教員
の任用、給与等に関する
条例の改正

Q 具体的な増額はどれ
程か。

A 2人分で1603万
4千円です。



◎文化センターサンアート

一般会計補正予算

Q 地域密着型サービス

拠点等施設整備事業の進捗状況は。

A 平成26年11月20日に建築工事中で、27年6月に開所の予定です。

Q 生活保護医療扶助適正化事業の内容と委託先は。

A 内容は同一疾病の医療費を医療機関ごとに比較分析し、高額な所には必要に応じて訪問し、今後の治療方針等に活用していく事業であり、委託先は今後見積もりを取り決定していきます。

特別会計補正予算

Q 介護予防福祉用具購入費、介護予防住宅改修費の件数と費用の平均額は。

A 件数はそれぞれ47件と49件を見込んでおり、

平均額は福祉用具2万5634円、住宅改修12万9223円です。

Q 市民病院でピアノを寄附金で購入されるがその利用方法は。

A 音楽療法や食事の時間等に自動演奏で音楽を流し、患者さんに楽しんでいただく予定です。

工事変更請負契約の締結（仮称）図書館学習交流プラザ建設工事

Q 増額分、約1億8千500万円の内訳は。

A コンクリート製の処分費150万円、不純物混じりの土砂処分費160万円、既設の基礎杭撤去と処分費740万円、県条例に基づく土壌汚染の調査費860万円、汚染土壌の処分費7190万円、閉架書庫9400万円で合計約1億8500万円です。

経済建設委員会

26年度一般会計補正予算

Q 低公害車の普及促進事業補助金について、昨年100台の補正予算がありました。3月までに申し込んで交付されなかった方の人数は。

A 昨年は1月15日に受付を開始して、1日で終了しました。その後も若干の方がお見えになりましたが、人数については把握しておりません。

Q 低公害車というだけで、高額な車を買う人に市が補助金を出す必要がありますか。

A みよし市低公害車普及促進事業補助金については、低公害車の普及促進を図り、地球温暖化の原因物質である二酸化炭素の排出抑制に寄与する

ことを目的としており、議論されたことはありません。

Q 自動車産業は地場産業であり、自動車が広く普及することで、税収が上がり、それが市民に還元されるという観点から見れば、電気自動車や高額な車も含め、補助する考えは。

A 自動車メーカーが二酸化炭素を出さない高額な車を発売するというところで、来年度の当初予算編成の中で、補助の検討を考えています。

Q 国民が低公害車を買う場合に、国から補助金が出ますが、自治体や事業所が買う場合も対象となりますか。

A 事業所及び自治体についても補助対象になります。

Q ハイブリッド車に対する補助をやめて、プラグイン車や電気自動車へ

の補助を厚くするという施策もあるが、産業振興の観点もあり、廃止はできない。今回の100台分の補正の根拠、また来年度の補助額を8万円から3万円減額し、5万円とする根拠は。

A 100台の根拠は今年度の5月から9月までの申請件数を参考に月20台とし、今後5か月間の計100台を見込んでいます。来年度の補助額を5万円にするのは、県内の市ではほとんどハイブリッド車に対する補助は行っていない。その中で刈谷市が5万円としており、参考にさせていた

だきました。

Q 訪生住宅大規模改修工事基本設計委託について、老朽化が目立ちますが、今までの改修実績は。

A 浄化槽から下水道への切り替え工事と屋上防水工事、外壁の吹付工事をしています。

Q 今回の補正内容を詳しく説明してください。

A 各部屋の内装と設備の全面改修工事、各棟の階段を撤去し各住戸の玄関レベルで建物の北側に片側廊下を増築、廊下につながるエレベータを各棟に1箇所設置する工事です。



◎訪生住宅

第4回定例会（12月議会）に11人の議員が、市政に対する一般質問を行いました。

塚本克彦（新世紀の会）

27年度予算編成

問 一般会計及び特別会計の予算規模は。

答 実施計画の計上額は一般会計では256億円程度、特別会計では53億1千万円、下水道事業では約3億7千万円、農業集落排水では約3億4千万円、介護保険では約19億円、やすらぎ霊園で約7千万円、後期高齢者医療では、約4億9千万円、病院事業では39億1千万円程度を見込んでいます。

問 市税収入の見込みは。

答 およそ152億円を見込んでいます。

問 重点施策は何か。

答 予算の大綱に示された3つの方針6つの基本目標に基づき、（仮称）図

友好都市との交流

問 木曽町への観光支援の現状は。

答 木曽町宿泊施設利



◎木曽町との議員交流

用助成券の交付は12月8日現在104枚です。利用促進については広報みよし、ホームページの注目情報への掲載、行政区でのリーフレット回覧などを行っています。ひまわりネットワーク、FMラジオラビット等マスメディアでの広報やカリヨンハウスのみよし市ビジターセンターでの観光ポスターの掲示も行っています。今後木曽町と連絡を取り、積極的に支援していきます。

近藤義広（みよし未来の会）

産業振興

問 中小企業への支援は。

答 平成25年度から開始した「商工業活性化補助金事業」を活用し、市内の企業等が連携して商業活性化に取り組む事業に対して積極的に支援しております。次年度に向けてさらに中小企業の支援が充実するよう、信用保証料補助や利子補給補助等の支援の拡充について実施する方向で検討します。

問 県営畑地帯総合土地改良事業の進捗状況は。

答 ブランド商品の柿・梨・ブドウの他植栽されている桃・かんきつ類をブランド品として扱う考えは。三好下地区で畑地造成や農業用施設の整備がほぼ完了、地区内では柿・梨・ブドウなど10種類約40・9ha植栽され、計画面積の89%の進捗です。



◎三好下地区の県営畑総

災害対策

問 茶屋川砂後川の改修。

答 準用河川茶屋川は22年度に最下流から工事に着手し、整備計画延長1310mの内25年度末までに372m完了しており、26年度は18m施工し、今後4か年で県道名古屋岡崎線を横断する工事を行い、上流に向け順次工事を進めます。準用河川砂後川は国道153号線より上流に向け、本年度から工事着手し、三好中部特定土地地区画整理事業区域までの660mの内56mを整備し、今後は、三好中部特定土地地区画整理組合の事業進捗に合わせ、工事を進めます。

第4回定例会（12月議会）に11人の議員が、市政に対する一般質問を行いました。

青木直人（公明党）

「放課後子ども総合プラン」の推進

問 近年、「小一の壁」と呼ばれる問題が深刻化している。放課後児童クラブは保育所に比べて開所時間が短いなど受け皿としての不備が指摘されている。放課後等を安全・安心に過ごせる居場所の整備が必要である。「放課後子ども総合プラン」の趣旨・目的は。

答 厚生労働省・文部科学省から通知があり、共働き家庭等の「小一の壁」を打破するとともに、次代を担う人材を育成するため、全ての就学児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう計画的な整備を進めることが目的です。本市で



◎小学生対象の認知症サポーター養成講座

も、国が示した趣旨・目的をよく理解し、本市の実情に合った対策を進めていく必要があります。

認知症の方の見守り体制づくり

問 認知症高齢者の徘徊による事故を未然に防止するには、幅広い関係機関・団体が連携して捜索にあたる仕組みを作ることが大変重要である。いわゆる「見守りSOSネットワーク」構築・充実の考えは。

その他の主な質問・地域包括ケア

答 「見守りSOSネットワーク」の構築・充実は、徘徊高齢者模擬訓練の実施、みよし安心ネットによる情報配信、あいちオレンジネットワークによる見守り体制の広域化を図っています。幅広い関係機関・団体と連携をし捜索にあたる仕組みづくりは必要と考えており、来年度以降の地域での訓練を見守り体制を地域と一緒に考える契機としたいと考えています。

富田正（市民フォーラム）

安全安心なまちづくり

問 カリヨンハウスの賑わいと活気あるまちづくりの拠点としての考え方は。

答 今後、駅前広場の改修やアクセス道路の改良の検討を行うなどのカリヨンハウスへの新たな人の流れを創り、駅前の賑わいづくりの核と考えて



◎カリヨンハウスの現状

います。

問 今後のビクターセンタの展示物について考えは。

答 文化面も含めた市民参加型のアートギャラリー的なものなど、皆様のご意見を参考にしながら、市職員で構成している委員会において考えていきます。

「コミュニティ地区の再編

問 再編後における新事業の取り組みは。

答 スケールメリットを生かしながら、全ての地区コミュニティ推進協議会にて防災訓練を実施、地域防犯や地域福祉へ活動を広げていただくように施策を推進してまいります。

問 コミュニティセンターのような設置についての考え方は。

答 行政区単位の地区施設として、公民館、児童館、老人憩いの家などを設置しており、主に活動は、施設を利用して行われています。

現在、三好丘交流センターや学習交流センター、明越会館などの市の施設を活用した地区拠点施設の整備について検討しています。

第4回定例会（12月議会）に11人の議員が、市政に対する一般質問を行いました。

水野 隆市（新世紀の会）

高齢者への
生きがい対策

問 高齢者が生きがいを
感じ、積極的に参加でき
るボランティア活動への
取組みや支援策は。

答 みよし市社会福祉協
議会が事務局であるボラ
ンティアセンターには約
2500人の登録があり、
広報などの音訳や点訳、
子どもの託児、また、人
形劇や楽器などによる施
設慰問が行われています。
支援として、ボランティア
ア連絡協議会へ補助金を
交付しております。

問 近い将来に迎える高
齢社会に向け、生きがい
づくりの老人憩いの家等
のハード面整備及びソフ
ト面での対応対策は。

答 老人憩いの家は平成
23年度から耐震診断及び

耐震補強工事を計画的に
進めています。ソフト面
ではカラオケ・舞踊・生
け花・囲碁・将棋や介護
予防教室等が行われ、今
後も支援をしてまいりま
す。

中高年者の健康づくり

問 本市の特定健康診査
の40～50歳代の対象者数
と受診率は。

答 25年度の対象者数
は2039人で受診率は



◎トレーニングルーム

20%です。

問 ロコモティブシンド
ロームや生活習慣病の予
防及び運動不足解消のた
めに、本市のトレーニン
グ施設の利用性や機能性
アップのための今後の方
策や考えは。

答 生活習慣病予防のた
めの「けんこう応援教室」
また、健康づくりリーダー
の指導によるストレッチ
や筋トレを紹介していま
す。28年度にトレーニン
グルームの拡張や高齢者
向けの機器等も検討して
まいります。

加藤 芳文（清風クラブ）

マイナンバー制度

問 全ての国民に12桁の
個人番号を割当てるマイ
ナンバー法が施行され、
平成27年10月に市民一人
一人に氏名、住所、生年
月日、性別、個人番号が
記された「通知カード」
が送付される。さらに「個
人番号カード」の取得希
望者は、申請書と顔写真
を該当事業所に送ると、
各種手続きの後、市役所
からカードが交付される。

答 個人番号は年金や医療
保険、確定申告等の手続
きの際に記載を求められ
るが、制度導入による市
への影響はどのようなか。

答 個人番号の通知事
務や個人番号カードの発
行事務だけでなく、個人
番号の利用範囲として46
事務、提供範囲として

101事務があります。
今後具体的事務を特定し
た上で、新規システムの
構築やシステム改修が必
要になります。不正な個
人情報の収集、漏洩、な
りすまし等の防止・罰則
には法律の規定がありま
す。

問 事業主の従業員への
給与支払いに個人番号の
記載が必要となるが。

答 市が個人番号を提供
することはありません。



◎福田町地区内雨水ポンプ場用地

個人番号の提供につい
てはマイポータルにより本
人が確認できます。

市の不動産鑑定評価

問 9月議会に福田町地
内の雨水ポンプ場用地取
得費1億51万円が計上さ
れ、平米単価2万3千円
であった。一方、旧農林
公社保有の打越町の田は、
平米単価5917円で
あった。

答 買収平米単価は不動
産鑑定士に委託し、取引
事例等の比較を行ってお
り、価格は適正です。

第4回定例会（12月議会）に11人の議員が、市政に対する一般質問を行いました。

伊藤 邦洋（新世紀の会）

27年度一般会計
当初予算編成について

問 景気回復の傾向の中で平成26、27、28、29年度の税収総額と法人市民税の見込について。

答 26年度税収総額で約169億円、内法人市民税は約47億円、27年度は総額は約152億円、内法人市民税は約34億円、28年度は総額約139億円、内法人市民税は約19億円、29年度は総額約136億円を見込んでいます。

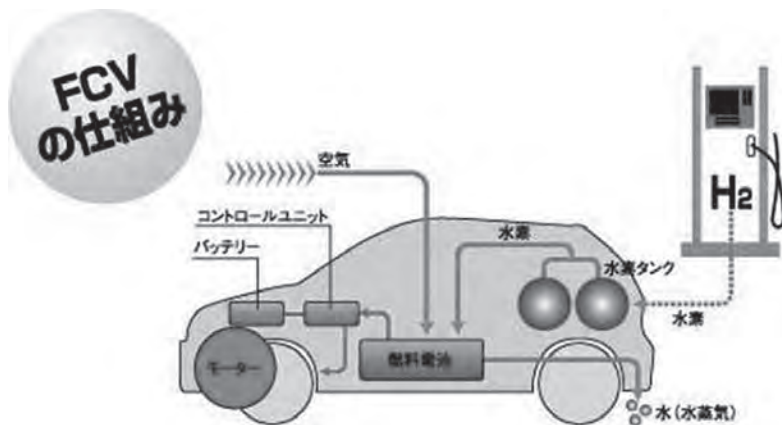
問 燃料電池車（次世代のエコカー）が12月15日から販売されるが、自動車産業が基幹産業である市として、水素スタンドの設置計画と、次世代エコカー（MIRA-1（ミライ））販売価格は

燃料電池車は上限35万円で検討中です。

学校教育環境の
整備について

問 空調設備を全小、中学校に設置する計画は。

答 27年度に全中学校、28年度に全小学校に、それぞれ空調設備の整備を計画しています。



◎燃料電池車イメージ図

岡本 守直（みよし未来の会）

みよし市制の
基盤づくり

問 体育の授業でリレー、徒手体操は模範演技の指導されているか。

答 学習指導要領にあり、出来る限り手本を示すように努めています。

コミュニティ・
スクール

問 多様化する市民の要請、信頼される学校づくりなどのように応えていますか。

答 活動を市民に公開すること、市民の意見を



◎コミュニティ・スクールパンフレット

その他の主な質問
・学校給食

動に生かすこと、市民とともにあることが大切と考えます。
問 文部科学省では設置促進を図っていますが、導入はどのようなか。
答 本市において導入申請している学校はありません。指定校では「学校が地域に情報提供を積極的に行うようになった」「地域が協力的になった」「活性化した」等が報告されています。一方「いじめ、不登校、暴力など生徒指導の課題の解決」「学力の向上」「家庭教育力の向上」については十分な成果が得られなかったと報告がありました。今後、学校と地域が力を合わせることににより信頼し合い、子どもたちの成長を支えていく教育活動を推進します。

第4回定例会（12月議会）に11人の議員が、市政に対する一般質問を行いました。

水谷邦恵（ゆうの会）

サンアートの指定管理者
選定と利用料金の改正

問 指定管理候補者選定の決め手となった点と、選定された団体について。

答 公募申請した3団体の事業計画の聴き取り、及び「稼働率向上の為の料金設定の考え方」、「文化の拠点としての文化事業の取り組姿勢」、その他提案の「市民優先策の実施」が、他の2団体より優れていた点です。団体名は現行のホームメックスグループ共同企業体（以下ホームメックス）です。

問 利用料金約1.5倍の値上げは上限で、指定管理者は超えない範囲で決める。決め手となった「稼働率向上の為の料金設定の考え方」は値上げをしない方向の考えか。

答 ホームメックスと協定の中で決定することになります。

複合施設（仮称 図書館
学習交流プラザ）の開館

問 開館まで1年5か月となった。現在の進捗状況は。

答 本年5月に着工し、基礎杭の打設まで完了しています。地下室部分の土壌汚染について、市条例、県条例に基づき調査しているため工事を中断



◎（仮称）図書館学習交流プラザ
応急措置実施箇所

していますが、判明しない早急に再開します。

問 新図書館部分は面積が現在の3倍以上になる。正規職員数と臨時非常勤職員の採用、及び指定管理者の導入について。

答 26年度の正規職員は6人、非常勤職員は15人で、1日当り5人の勤務です。新図書館では窓口の業務委託を考えており、非常勤の採用計画はありません。指定管理者の導入は、3年以降を目安に検討の開始を考えています。

藤川仁司（新世紀の会）

市民協働事業

問 平成27年度の行政区に対する補助金制度について、改正点とその利点は。

答 3年に一度の見直しの中で、現在行政区に交付している補助金の内、すべての行政区で実施されている事業に対する6つの補助金と印刷物配布事業交付金を統合して一

括交付するものです。

これにより、行政区の事務の軽減と、行政区の裁量で補助金額を分配することができるようになります。

問 行政区内で行われている社会活動に対し、市民からの提案事業として補助する考えは。

答 提案型補助金は現在のところ、補助金の対象にならない事業です。



◎防犯カメラ

行政区の特色のある事業を提案していただき、市の施策に即しているかなど審査させていただく方向で、調査研究中であります。

問 昨年度から実施している防犯カメラ事業の現状と新規要望は。

答 25年度は4行政区27台、26年度は9行政区で延べ40台の予定、27年度は現在5行政区から設置予定と聞いています。

問 新規事業に対しては、5年先、10年先を見据えて行うものですが、将来的にどのような規模になり、犯罪抑制のための効果は。

答 地域に設置する防犯カメラは、防犯パトロール隊の活動や各戸での防犯対策、防犯灯などの相乗効果による犯罪抑制効果があるものと考えます。

水谷正邦（青雲クラブ）

女性活躍の推進

問 今後二次産業は工場の海外移転やロボット化が進むと考える。人が働くのは三次産業中心となり、女性活躍の場は増えると考えますが、今後のビジョンはどのようなものか。

答 既存事業者の一層の高度化・高付加価値化の取り組みを支援すると

共に、産業構造の多様化をめざし、ベンチャー企業等新産業の参入を支援し、雇用の創出に努めているところです。さらに

本市の福祉関係では、子育て支援対策の充実として、保育園の3歳未満児の受け入れ、放課後児童クラブの4年生から6年生までの受け入れ、保育園の民営化による民間職

員の採用等の拡大によりマンパワーの確保が必要になってきます。今後とも女性の就労や活躍が様々な分野でできるよう努めていきます。

問 ひとり親家庭の相対的貧困率は54・6%で金銭的な支援強化と同時に、将来を見据えた仕事に就くための支援が必要だと考える。本市の支援策はどのようなものか。

答 本市の本年10月末時点でのひとり親世帯は380世帯です。市制施行時から母子・父子自立支援員を配置して、ひとり親家庭の就業を効果的に推進することを目的とした支援を行っています。さらに本年6月から、より身近な場所で職業相談・紹介を行えるようハローワーク豊田による市内巡回相談を行っています。今後も支援体制の充実に努めます。

（仮称）図書館学習交流プラザの開館

（仮称）図書館学習交流プラザは、図書館機能・文化活動機能・交流機能等複数の機能を持つ施設です。

平成21年度に基本構想を策定し、公募市民を含む基本設計策定協議会を設置、23年度に2回、24年度に4回協議会を開催し、パブリックコメントの意見募集も行い協議・検討してきています。

本年5月から工事に着工し、28年4月1日の開館に向けて進んでいますが、本市の自主的土壌調査により、地下室建設部分から、基準値を超えるふっ素が確認されたため、工事が中断していました。

ふっ素の基準値は0・8mg/Lですが、市の測定結果が基準値を超過していたため、建設業者が環境科学研究所に検査を依頼した結果、土壌溶出量は1・5mg/Lで基準を超過、土壌含有量、地下水は基準に適合していました。県の「県民の生活環境の保全等に関する条例」に基づき、

愛知県に報告し、県の指導を受けて、基準をえた46区画中6区画の土壌の掘削除去を実施し、12月末から工事を再開しました。

今後の予定は27年3月末に地下室完了、4月から建築に着工し早期開館を目指すことになります。



◎工事現場



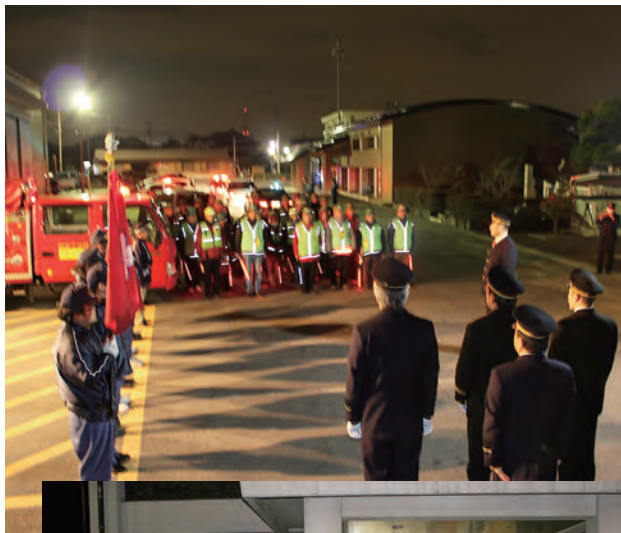
◎完成予想図



地区防犯パトロール隊紹介

このコーナーでは、まちの安全を守ってくれる地区防犯パトロール隊の皆さんをご紹介します。

今回は、明知下行政区のパトロール隊をご紹介します。



◎年末夜警でのパトロール隊の様子

明知下行政区の防犯パトロール隊は、平成17年4月に結成され、9年が過ぎました。

現在の隊員数は101人。隊は、徒歩によるパトロール隊、青色パトロール車隊、子ども見守隊、ステッカーパトロール隊、ワンワンパトロール隊で構成されています。

月1回定期的に全員が集合し、駐在さんから、市内の犯罪と交通事故の発生状況と原因、防止策等の説明を受けたあと、全員で行政区をくまなくパトロールします。また、各隊

での、個別パトロールも実施しています。

さらに、行政区放送を活用し、防犯交通安全等、地域の安全、安心のための情報提供等の広報活動と、駐在署だよりが区民に回覧され、防犯啓蒙活動も積極的に行われています。

これからも、伊藤春人隊長を中心に、各行政区パトロール隊と連携して、積極的な防犯活動を行い、地域全体が犯罪の無い、安全・安心なまちとなるよう、活動していきます。

次回定例会のご案内

平成27年第1回定例会の予定は次のとおりです。

会 期 3月3日(火)～19日(木)

一般質問 3月4日(水)・6日(金)

議案質疑 3月10日(火)

【委員会】

総務協働委員会 3月11日(水)

文教厚生委員会 3月12日(木)

経済建設委員会 3月13日(金)

編集後記

議会だより発行には、市民の皆様を読み易く、興味を持っていただける紙面づくりの心がけています。広報委員の意見交換をするなかで強いインパクトがある記事作成をしましたが、まだまだ期待にこたえる紙面には至らないのではと思っています。

本年は統一地方選挙の年です。先日の県知事選挙に引き続き、4月には県議会議員、市議会議員の選挙が行われます。皆さん、ぜひ投票にお出かけください。

議会広報特別委員会



環境に優しい植物油インキを使用

〒470-0295 愛知県みよし市三好町小坂50 TEL (0561) 32-2111(代) FAX (0561) 34-4549
みよし市議会ホームページアドレス <http://www.city.aichi-miyoshi.lg.jp/>
(市ホームページから市議会の欄をクリックしてください。)